

# もんし 聞思

発行所 光山寺  
〒758-0063  
萩市 大字山田4553  
TEL (0838) 22-1370  
http://kousanji.net

書初や

つきぬいろはの

思の筆

長府・五三歳

## 募集キャラゆるにて 萩市仏教団

萩市仏教会(会長、東光寺)では五十周年を記念して、ゆるキャラマスケットを作成することになりました。各種仏教会行事や子供会等にも出前出張するゆるキャラである。ついてはこの度、キャラクターデザインを募集することとなりました。詳細な募集要項ならびに募集用紙は、本堂に設置しているので、締め切り厳守で応募ください。

- 一、萩市らしさ
- 二、仏教らしさ
- 三、子供への親しみやすさ
- 四、等身大の着ぐるみが作成可能なもの

応募は必ず別紙用紙にて、平成二十六年一月十九日までに光山寺に持参ください。賞品は、優秀賞一名(キャラクターに採用)には図書カード一万円、優秀賞三名には図書カード五千円、佳作若干名には図書カード千円、その他の応募者全員に仏教会オリジナルグッズがもらえる賞えします。応募は一人一点です。対象の方は奮って応募ください。



yuruJp 全国ご当地キャラニュース

今年も子供報恩講へご参加ください  
一月十六日は宗祖親鸞聖人のご命日、毎年一月の土曜学校は、「ごとも報恩講」と称して、お勤めの後、お齋にゲームと子供達と父兄も一緒に楽しい時間を過ごしています。毎年多くの皆さんに参加いただいています。小学生までのお子さんがいらつしやる父兄の皆さんには、お正月の子供報恩講には是非ともご一緒にお越し下さい。参加費等は無料です。

日時：一月十三日 午前十一時～午後二時頃  
会場：光山寺本堂にて



### 受勲と門徒推進員になりました

平成二十五年度の春の叙勲にて山田地区の原幸一さん(六三才、当時)が瑞宝双光章(危険業務従事者叙勲)を受章されました。ご披露が遅くなりました。

また、昨年十二月、ご本山での第二〇三回門徒推進員養成中央教修を樺東地区の山平勝彦さんが受講され、門徒推進員とされました。(記事詳細は次号) 門徒推進員とは、萩組の連続研修(通称「連研」)を受講され、ご本山での三泊四日の教修を受講された方が山口教区より委嘱され、僧侶とともに周囲の人々にみ教えを伝える実践・推進者として積極的に活動が期待されることとなります。

### 「正念報恩講(しじょうきほうおんこう)」

親鸞聖人のご祥月(しじょうき命日)を縁に一月九日から十六日の一週間営まれる本願寺最大の年中行事です。期間中、全国から僧侶・門信徒が多数参拝し、聖人のご遺徳を偲ぶとともに浄土真宗の信者としての自覚を新たにします。是非お参りください。

## 光山寺行事案内

平成二十六年の光山寺前期行事予定の一覧です。万障繰り合わせてご参加ください。

### ★萩組・光山寺法要関連

- 一月 九日(木曜) 午前十一時半 最勝講(玉江地区)
- 一月二五日(土曜) 午後七時 萩組連続研修(浄国寺)
- 二月 二日(日曜) 午後七時半 門徒推進員連絡協議会(光源寺)
- 三月二五日(土曜) 午後七時 萩組連続研修(明円寺)
- 五月一・二日(木・金曜) 春季永代経法要(講師、福田康正師)
- ★子供会(日曜学校) 関連
  - 一月 一三日(月曜) 午前十一時 子供報恩講
  - 以降、二月十五日(土曜)・三月十五日(土曜)
  - 四月十九日(土曜)・五月一七日(土曜) 午前九時より開催

### ★仏教青年会 関連

- 一月十三日(月曜) 午前十一時 子供報恩講と同時開催

### ★仏教壮年会 関連

- 三月 九日(日曜) 午前十時 山口教区仏教壮年大会(別院)
- 五月 下旬 午後七時半 光山寺仏教壮年会総会
- 六月 未定(日曜) 午後三時 光山寺ソフトボール大会

### ★仏教婦人会 関連

- 二月下旬・四月中旬 光山寺仏教婦人会常任委員会・全役員会
- 五月一八日(日曜) 午前九時半 光山寺初参式

### ★親鸞聖人讃仰会(登録制・要年会費二千元)

- 四月一四日(月曜、午後八時)、六月一六日(月曜)

### ★礼讃の夕べ(日、正信偈唱和会、一般参加可・無料)

- 以降、隔月原則第三月曜日午後八時庫裡にて開催。十月まで。
- 五月 十日(土曜) 午後八時 光山寺本堂
- 六月一四日(土曜) 午後八時 光山寺本堂
- 七月一九日(土曜) 午後八時 光山寺本堂

### ★雅楽練習会(原則日曜午後七時半。不定期開催)

- 一月一九日(日)・三月一六日(日)

※コーラスの日程についてはお問い合わせください。

山口別院定例法座・毎月五日午後一時半(一月は十時半)

萩こころの電話(三分間法話) 電話 25-7710

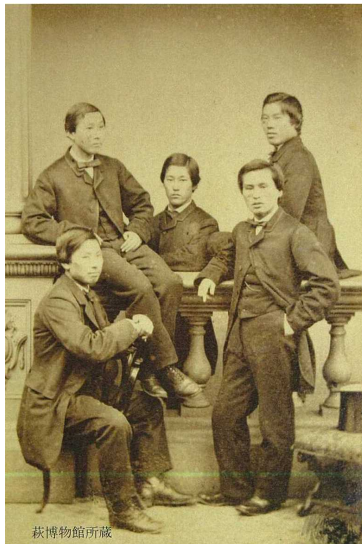
西本願寺の時間(KRYラジオ) 毎週日曜日午前六時から六時十分



### ■仏教壮年会研修・忘年会■

光山寺仏教壮年会（会長、西島孝一）では文化部（野村謙次部長）の研修並びに忘年会を十二月二十一日（土）午後六時より光山寺本堂にて開催した。今年度も講師として**救博物館学芸員、道迫真吾氏**をお迎えして、「**長州ファイブ 密航留学一五〇周年**」と題して講演いただいた。長州五傑（長州ファイブ）は、幕末に長州藩から派遣されてヨーロッパに秘密留学した、井上聞多（井上馨）、遠藤謹助、山尾庸三、伊藤俊輔（伊藤博文）、野村弥吉（井上勝）の五人。秘密留学のため秘かに乗り込んでいた英国船が横浜港から無事出港したのは、一八六三年（文久三年）五月十二日（旧暦）であり、その前日十一日の五人の手紙を解読してもらい、生きた機械とならぬとする五人の志と決意に一同感動した。

また、研修会修了後は、本年も三隅の極楽寺仏教壮年会会員四名と三見光円寺さん光山寺仏教婦人会有志の皆さんも参加され、約五〇名のご門徒と賑々しく忘年会が庫裏にて開催された。



救博物館所蔵

### ■募金箱報告■

WWFJ（世界自然保護基金日本委員会）の募金箱（焼香卓よこ）に集まった募金七、六三二円を十二月二十四日送金しました。沢山の募金大変に有り難うございました。また、**仏教婦人会設置の募金箱に集まった募金二四、八七八円を救組を通じて、救市豪雨集中災害救援義援金として救市に寄付しました。**募金箱は引き続きそれぞれ設置しています。今後ともご協力宜しくお願い致します。



### ■初参式のお知らせ■

親鸞聖人の誕生月である五月には毎年婦人会主催により初参式を実施しています。今年も五月十八日（日曜日）午前九時半より光山寺にて開催されます。生後一年くらいまでのお子さんが対象となるが、**仏の子として育つため仏教のご縁に初めてあう合同の初参式**です。参加希望の方はお子さんのお名前・生年月日等を光山寺までご連絡ください。尚、当日参加できない方は個別の初参式や自宅での初参式も受け付けていますので、是非お申し出ください。



### ■親鸞聖人鑽仰会会員募集！■

親鸞聖人のみ教えを鑽仰し、同朋としての親睦を深める事を目的とした「親鸞聖人鑽仰会」を今年も**四月十四日よりスタート**します。新規会員を募集いたします。ご門徒に限らず、年齢・男女を一切問わず広く親鸞聖人のみ教えを仰ぐ方々の集まりです。年会費は二千円で二ヶ月に一回の開催。西本願寺の「季刊せいてん」を中心に学習します。『浄土真宗聖典（註釈版）』が必要となりますが、お持ちでない方は申し出ください。原則**偶数月**ですが、詳しい申込みについては別紙にてご確認ください。

### ■法話「砂の風呂」■

お父さんがおゆからあがってきた。わたしがそのあとにはいった。底板をさわったら少し砂があった。真っ黒になって働いたからだ。私は黙ってはいって

むらかみ けん

この詩を見るとなぜかホッとします。「おとうさんはちやんとシャワーを浴びてから風呂に入るべきだ」とか「風呂に砂があるなんて金魚の水槽みたいだ」というの問題ではなく、この詩を書いた子は一生懸命働いたお父さんの後ろ姿を見ておのずと黙ったのでしよう。

「勉強しなさい」「お手伝いしなさい」「もつと行儀よく」と、言葉を駆使して最高の理屈を作り上げても、子供はビールを飲みながらナイターを見るお父さんの姿を真似するのです。

ご門徒さんが家族三人でお参りに来ました。お母さんは、お経を一緒にお勤めして、きれいな姿勢で合掌して、お焼香をしました。一緒に来ていた六歳の子と一歳の子が、その姿を真似していました。

理屈や上手い説法だけで教えが伝わっていくことはありません。一人一人がその後ろ姿をもって次の世代に残していかなければならないのだと思います。

（仏教子供新聞「七五六号より」）

### ■法話「おばあちゃんの悩み」■

大分教区 紅煤三男丸

私がこれからお話するおばあちゃんとは、とても可愛くて、アツサリしたいおばあちゃんです。

ところが、このおばあちゃんにもいくつか悩みがありました。それは次第に耳が遠くなり、人の話が聞き取りにくいことでした。人間80歳も過ぎればどこかに故障がくる、と言ってしまえばすむことですが、本人にとつては不自由なことだと思えます。

耳が遠くなることばかりでしたら、おばあちゃんも少しはがまんができました。でも今度は、目が少しづつ見えなくなりました。病院で手術をしましたが、あまり効果がありません。近頃では、昔のおしゃれで、おしゃべりなおばあちゃんも元気がありません。得意な昔話も、この頃では愚痴の方が多くなってきたのです。ご主人が亡くなった年など、南無阿弥陀仏と一万回以上も書いたということです。

最後におばあちゃんは言いました。「耳の遠いことも、目のうすいこともくやしいことですが、じつとがまんしましたよ。でもね今朝、南無阿弥陀仏と紙に書こうとしたら、どんな漢字だったかいくら思い出そうとしても思い出せないのですよ。頭までボケてきたと思ったら、情けなくて情けなくて・・・」これが本当の悩みというものでしょう。私たちもおばあちゃんと同じ終着駅の電車に乗っていると思いませんか。

耳も遠くなり、目もうすくなり、南無阿弥陀仏という字も忘れてしまう私を「忘れはしない、たとえあなたが忘れても、私はあなたを忘れません」という阿弥陀さまのよび声の強さに頭が下がります。おばあちゃんの悩みを聞いて、本当の人間の姿とまことの教えにふれることができました。

おばあちゃんありがとう。

（テレホン法話集「いつでも どこでも（第一集）」より転載）